

岐阜大エール「多望之春-各務」

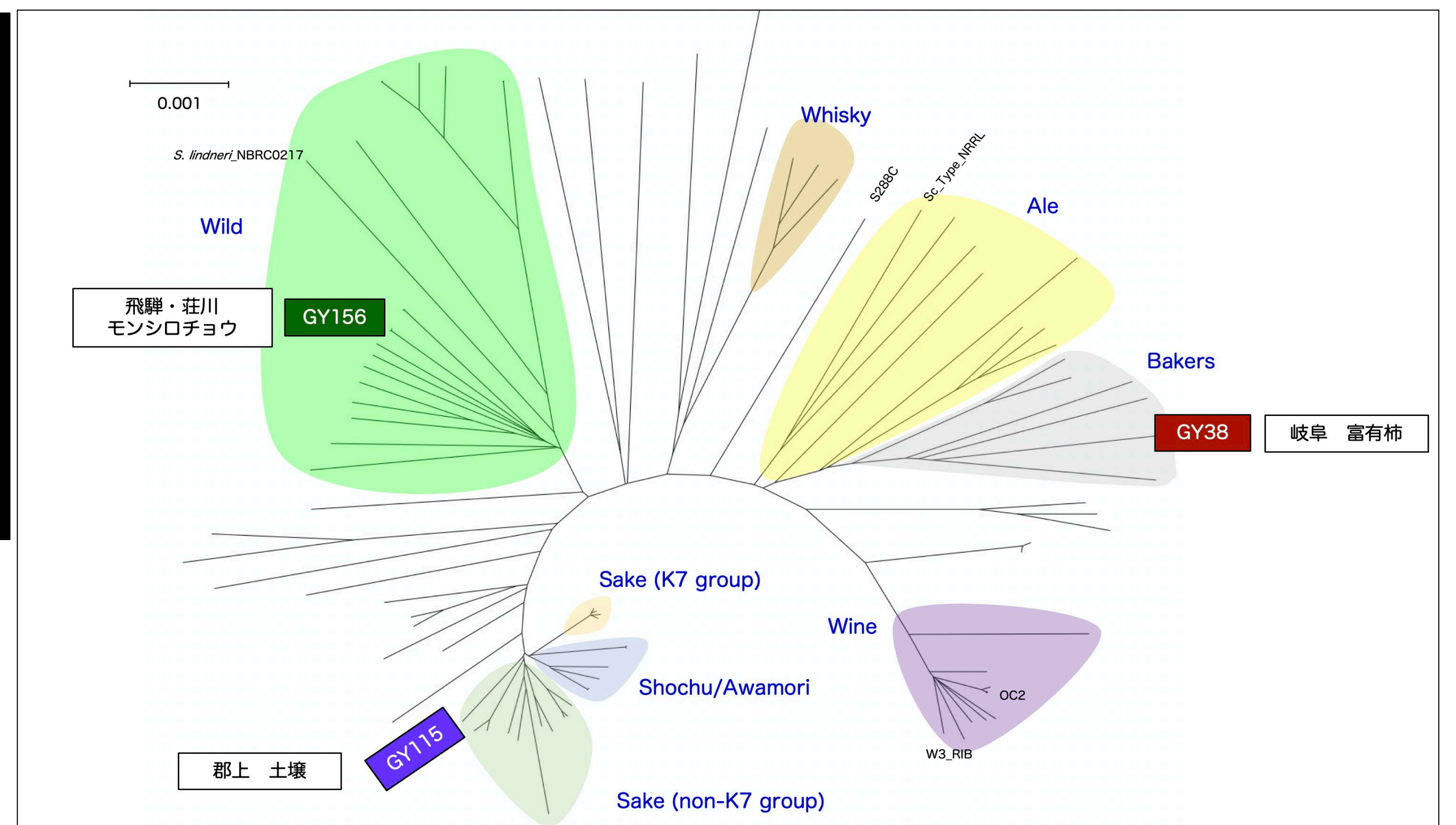
応用生物科学部 応用生命科学課程 教授 中川 智行

概要

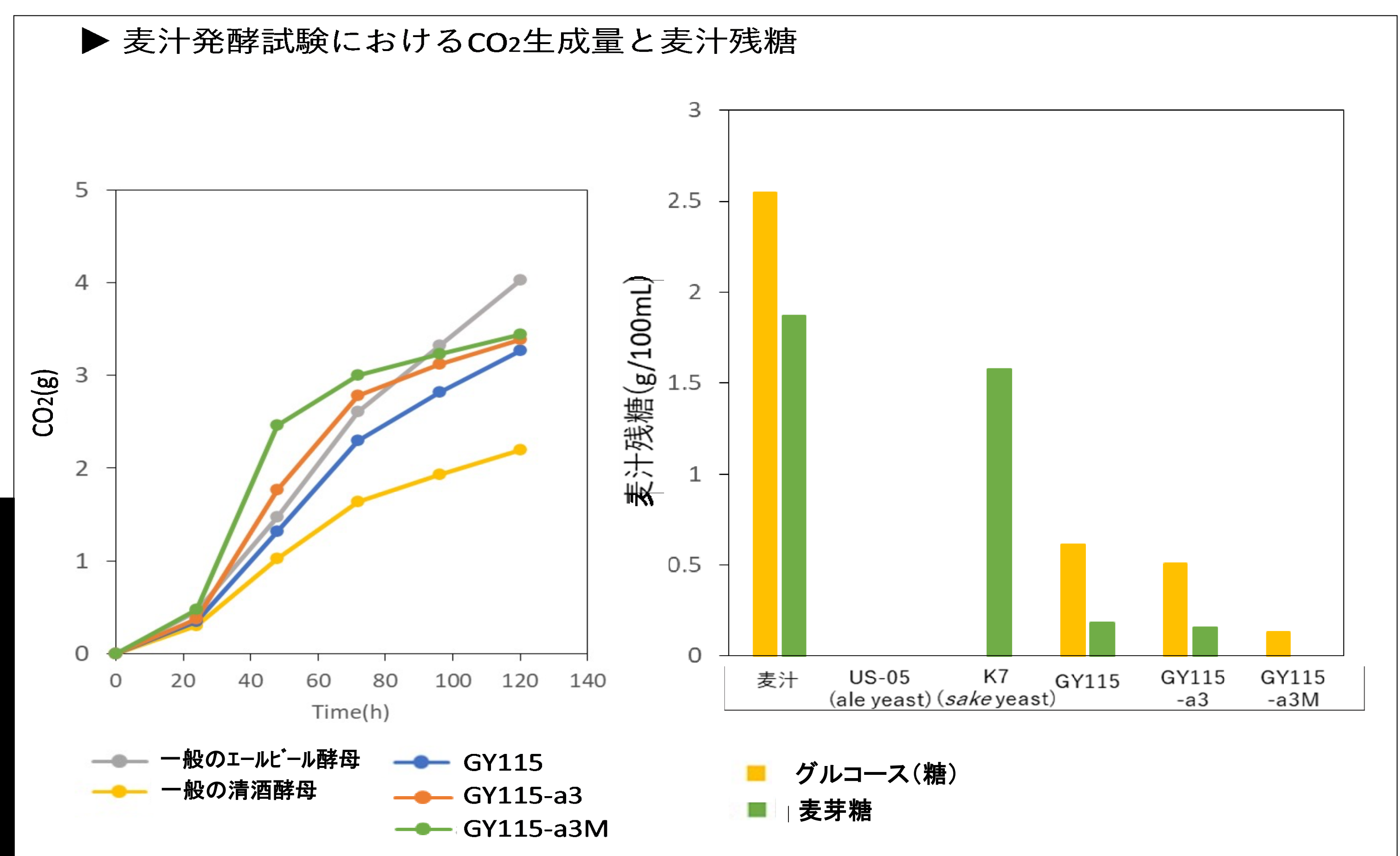
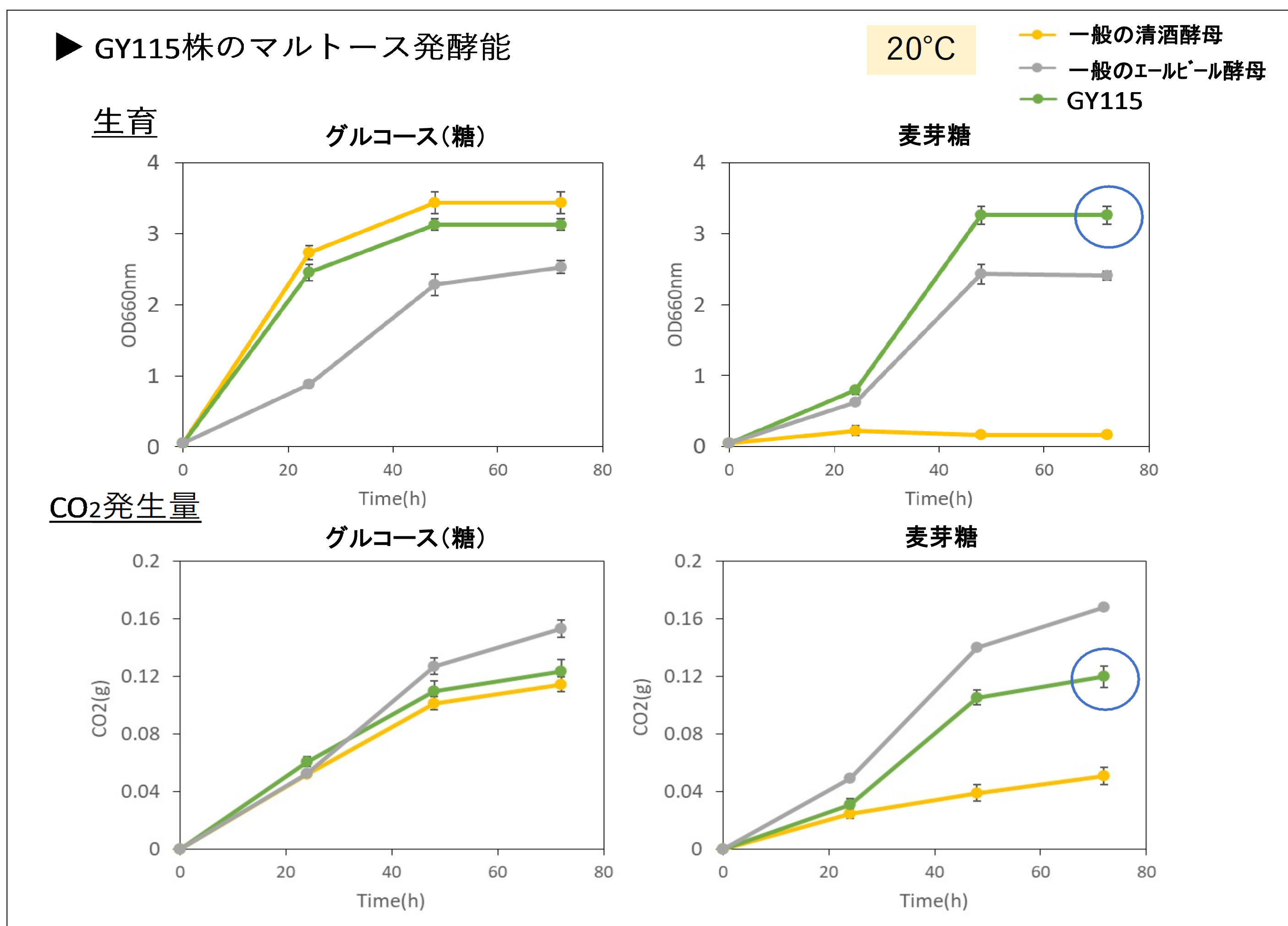
岐阜大学では岐阜県食品科学研究所との共同研究成果として清酒酵母GY115株を育種しました。ここでは、このGY115株を用いた新たなエールビール「多望之春-各務」の開発について解説します。

研究内容

ゲノム解析の結果から、GY115株は遺伝系統的に清酒酵母系に分類されます。一般的に清酒酵母はビールの主原料麦芽糖を資化できないことから、ビール醸造に利用できないのが一般的です。



左図のように一般的な清酒酵母は、麦芽糖は利用できません。一方、GY115株は、麦芽糖を分解する能力を持っていました。



GY115株の麦芽糖を利用する能力が向上した株を育種し、エールビール醸造試験を行いました。その結果、右図のようにビール発酵力が向上した酵母株を育種できました。

活用分野・用途・応用例

育種したGY115-a3M株を用いて、岐阜麦酒醸造様にて岐阜大エール「多望之春-各務」を開発、販売しました。



ラベルデザイン：教育学部 山本政幸教授